

# パワーオプティマイザ産業用

P750

パワーオプティマイザ



## 簡単なオプティマイザの設置でモジュールレベルの最適化

- ソーラーエッジパワーコンディショナと連携する特別設計
- 入力電流20Aで、高電流出力モジュール対応
- 最大25%の出力増
- 優れた効率(99.5%)
- 製造公差や部分影など、あらゆるタイプのモジュールの mismatch ロスを低減
- 柔軟なシステム設計で設置面を最大限活用
- モジュールレベルモニタリングによる次世代型メンテナンス
- インストーラーおよび消防士の安全を確保するモジュールレベルの電圧シャットダウン

# パワーオプティマイザ産業用

P750

## パワーオプティマイザ (標準的な対応モジュール) P750 (高出力モジュール1枚付)

入力		
定格直流入力電力 <sup>(1)</sup>	750	W
接続方法	1対の入力	
絶対最大入力電圧 (最低温度での Voc)	60	Vdc
MPPT動作範囲	12.5 - 60	Vdc
入力あたりの最大短絡電流(Isc)	20	Adc
最大効率	99.5	%
実質効率	98.6	%
過電圧カテゴリー	II	

稼働時出力 (ソーラーエッジ製パワーコンディショナに接続されたパワーオプティマイザ)		
最大出力電流	18	Adc
最大出力電圧	80	Vdc

非稼働時出力電圧 (ソーラーエッジ製パワーコンディショナから切断またはソーラーエッジ製パワーコンディショナのオフ時)		
パワーオプティマイザごとの安全出力電圧	1±0.1	Vdc

適合規格		
EMC	FCC Part15 Class B, IEC61000-6-2, IEC61000-6-3	
安全性	IEC62109-1 (クラスIIの安全性)	
RoHS	適合	
火災安全性	VDE-AR-E 2100-712:2013-05	

設置条件		
ソーラーエッジ製パワーコンディショナ	単相パワーコンディショナ, 三相パワーコンディショナ	
最大許容システム電圧	1000	Vdc
寸法 (幅×長さ×高さ)	129 x 169 x 59	mm
重量 (ケーブルを含む)	1340	gr
入力コネクタ	MC4 <sup>(2)</sup>	
入力ワイヤー長	0.9	m
出力コネクタ	MC4	
出力ワイヤー長	1.4	m
動作温度範囲 <sup>(3)</sup>	-40 to +85	°C
耐環境性能	IP68	
相対湿度	0 - 100	%

- (1) STC での定格出力がオプティマイザの“定格直流入力電力”を超えないこと。モジュールの +5% までの出力公差を許容。  
(2) 他のコネクタタイプについてはソーラーエッジにお問い合わせをお願いします。  
(3) 周囲温度+70°C以上では、出力抑制がかかります。詳細は、「Power Optimizers Temperature De-Rating Application Note」を参照。

## ソーラーエッジパワーコンディショナを使用した PVシステム設計<sup>(4)(5)</sup>

	SE5500H-JP/ SE5500H AC-S	SE17.5K-JPI	SE25K-JPI	SE33.3K-JPI4/ SE33.3K-JPI8/ SE66.6K-JPI4/ SE100K-JPI4	
パワーオプティマイザ	P750	P750	P750	P750	
最少ストリング長	パワーオプティマイザ	7	10	13	14
	PVモジュール	7	10	13	14
最大ストリング長	パワーオプティマイザ	25	30	30	30
	PVモジュール	25	30	30	30
ストリング毎の最大電力		8820	12780	15300	W
ストリング毎の許容最大電力 <sup>(7)</sup> (ストリング間の電力差がSE17.5Kはストリング間の電力差が1000W以下、SE25K/SE33.3Kはストリング間の電力差が2000W以下の場合のみ可能)	13750W	1 ストリング: 10020	1 ストリング: 15030	1-2ストリング: 17550	W
		2-4 ストリング: 10620	2-4ストリング: 17780	3-4ストリング: 20300	
異なるストリング長と構成での入力接続		可			

- \* 同定格出力を持つユニットからなるシナジーテクノロジー三相パワーコンディショナにも同じ規則が適用されます  
(4) P750は他のオプティマイザと同一ストリングに混在して使用することはできません。  
(5) 2021年台42週以前に製造されたSE5500H-JP/SE5500H-JPIには使用できません。  
(6) 三相パワーコンディショナの最小DC容量(モジュール定格の合計)は11kWです。  
(7) ご使用条件によってはSTC出力で計算した容量以上の接続が可能になる場合もあります。デザイナーでご確認ください。